



教えてイイトコ

宇都宮

夢や目標を持って宇都宮にやってきた人たちに
宇都宮のイイトコを聞きました。

ロッククライミングに取り組む若林浩一さん

(宇都宮溪嶺会)

実は、宇都宮はクライミングが盛んな街なんです。他の都市と比べて人口に対するクライミングジムの数が多く、世界レベルで活躍する選手や国体で優勝した選手もいます。

私は住まいも勤務地も市外ですが、平日の夜には市内のジムで仲間たちとトレーニングに取り組み、休日は古賀志山を訪れ、クライミングに励むなど、オフの時間を満喫しています。古賀志山には、他県からわざわざ訪れる人もいます。

宇都宮の魅力は、都会と田舎のどちらも兼ね備えているところだと思います。街中にはジムが多くあり、車で20分も走れば古賀志山のような大自然もあります。クライミングを楽しむには「ちょうどいい街」だと思います。

◎若林さんは、7月10日(金) 正午～午後0時49分エフエム栃木「宇都宮プライド 愉快的ラジオ」、7月12日(日) 午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「井上マーの教えてイイトコ宇都宮」(再放送) に出演します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。



▲「大自然の中でのクライミングは最高です」と笑顔の若林さん。
◀「仲間たちに会うのが楽しみなんです」と、週に3回ほど訪れるというクライミングジム「SUNCUL」(今泉町)。

乗ってみよう 地域内交通

■「板戸のぞみ号」の導入に至るまで 清原地区の北部に位置する板戸地区は、高齢者の割合が高い一方、公共交通がない地域で、交通手段の確保が大きな課題でした。このため、平成20年から地域での検討を始め、住民アンケート調査も実施しながら、デマンド方式の乗り合いタクシーの採用を決定し、平成21年4月から「板戸のぞみ号」の運行を開始しました。

■デマンド方式とは バスのように決められたルートはなく、予約に応じて利用者の自宅とあらかじめ設定された目的施設間を効率のよいルートで運行します。地域の移動を面的にカバーできるため、住宅や目的施設が点在している地域に適しています。

■板戸のぞみ号

- ▽運営主体 板戸のぞみ号運営協議会。
- ▽運行日 月～土曜日(祝休日、お盆、年末年始を除く)。
- ▽運行エリア 清原地区・高根沢町の一部など。
- ▽運行便数 1日9便(午前9時台～午後5時台)。
- ▽利用料金 1回300円(小学生半額、未就学児無料)。
- ▽利用対象者 板戸自治会エリアの住民。
- ▽その他 利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。清原地区市民センター ☎(667)5696へ。



▲板戸のぞみ号の車両

今回は、地域組織が運営主体となり運行している地域内交通のうち、清原地区のデマンド型乗り合いタクシー「板戸のぞみ号」について紹介します。

■地域の生活に合わせた運行 運行に当たっては、板戸地区住民の生活圏である、ゆいの杜や近隣の高根沢町などに目的施設を設定し、日常の移動手段を確保する他、JR宝積寺駅や柳田車庫バス停に接続することでさらに広域への移動にも対応しています。運行開始後も利用実績などを踏まえ、運行便数や運行日、目的施設などを見直し、地域の生活に合わせた運行をしています。また、地域の行事に合わせて体験乗車会を行い、身近な公共交通として親しんでもらう機会を設けるなど、利用促進にも取り組んでいます。このような地域の地道な活動により、毎月300人以上の人に利用されています。

板戸のぞみ号運営協議会会長 菊地 公史さん



地域内交通を導入するまでは路線バスがなく不便な地域でした。今では高齢者が自分で病院や買い物に出掛け、仲間と食事やカラオケに行くなど出掛ける機会や楽しみが増えたようです。「板戸のぞみ号」の導入により地域が明るくなり活力が出てきました。

買い物や通院、銀行、公共交通への乗り換えなど生活の一部として幅広く利用をしています。家族に負担を掛けずに一人で外出できるので助かります。運転手さんが優しく丁寧な対応で、移動中は友達のように会話ができ、うれしく思います。いつまでも運行してほしいです。



利用者の増淵さん

☎交通政策課 ☎(632)2133

◎バス車内事故防止キャンペーン実施中 走行中に座席を離れると、転倒などで思わぬけがをすることがあります。降り際にはバスが停留所に着いて完全に停止してから座席を離れてください。また、バスは、やむを得ず急ブレーキをかける場合があります。ご利用の際は、つり革や手すりなどにしっかりつかまってください。☎交通政策課 ☎(632)2133